

【実函数論分科会】

1. 2023 年度分科会評議員候補者選挙について

2023 年度秋季総合分科会（東北大学，9 月 20 日(水)～ 9 月 23 日(土)）において，実函数論分科会選出評議員候補者選挙を以下の「選挙規定」に基づき行います。

(ア) 日本数学会会員で実函数論分科会に登録してある者を選挙権者および被選挙権者とする。

(イ) 候補者は次の者からなる。ただし，同一人物が複数の候補者を推薦することはできない。

1. 分科会委員会が推薦する 2 名（そのうち 1 名は既に 1 年間評議員を務めた者とする）
2. 選挙者 15 名以上の連名により推薦された者

注：これらの候補者は当該年 8 月発行の「数学通信」2 号で選挙管理委員と共に公示する。従って，候補者を推薦しようとする者は候補者を決定し当該年 6 月末までに当該年度評議員まで通知するものとする。通知様式は最後に掲げる。

(ウ) 候補者の任期は 1 年とする。

注 1. 候補者が評議員に選出されれば評議員の任期は 1 年という「日本数学会定款第 22 条」が適用されるという意味である。

注 2. 上の (イ) の 1. で述べた意味で実函数論分科会評議員の任期は実質 2 年となる。2 年目の評議員が連絡責任評議員を務める。

(エ) 投票方法については「数学通信」2 号に掲載する。

実函数論分科会評議員候補者推薦状の様式：

実函数論分科会会員である

被推薦者氏名（所属）

を実函数論分科会評議員候補者として推薦するための要件が整ったので，以下に推薦者名簿（要記名捺印）をそえて，申し込めます。

2. 2023 年度分科会委員会委員について

2023 年度の分科会委員会委員は次の通りです。

赤木剛朗（東北大理），河邊 淳（信州大工），菊池万里（富山大理），
白川 健（千葉大教育），鈴木智成（九工大工），山崎教昭（神奈川大情報）

3. 2023 年度研究集会について

2023 年度開催の研究集会のうち，次をご案内いたします。

○ 第 62 回実函数論・函数解析学合同シンポジウム

期 日： 2023 年 8 月 28 日(月)～8 月 30 日(水)

会 場： 千葉大学西千葉キャンパス総合校舎 G3-12 号室

代表者： 赤木剛朗（東北大理），廣惠一希（千葉大理），渡邊恵一（新潟大理），

○ 実解析学シンポジウム 2023

期 間：2023年10月28日(土)～10月29日(日) (講演数が多い場合は10月27日(金)も追加)

会 場：大和大学

開催責任者：川崎敏治 (玉川大学), 富田直人 (大阪大学), 厚芝幸子 (東京女子大学)

会場責任者：及川久遠 (大和大学)

(連絡責任評議員 赤木剛朗 東北大学大学院理学研究科)